



朝はまだ冷え込みますが、日中は暖かく春の訪れも感じられます。2月は暖かい日が多く、散歩に出かけたり、戸外でままごとや、集団遊び、ボールで遊んだり大縄跳びを跳んだり、思い切り体を動かして遊ぶことができました。散歩では、きりん組やぞう組のお兄さんお姉さんにリードしてもらって歩いて来たことで、りす組のお友だちと手を繋いで散歩に出かけた時に、優しく手を引いて歩いたり「こっちを歩くよ」や「危ないでこっちにおいで」など、優しい言葉を掛け、気配りしながら歩く姿に、成長を感じました。早いものでうさぎ組の生活も残すところ1ヶ月となりました。笑ったり、泣いたり、怒ったり、友だちと共に関わり、一緒に過ごす中で心も体も大きくなりました。今ではトラブルを見ていた子が仲立ちをするなど、友だちとの関わり方にも深まりがみられるようになってきました。そんな一人ひとりの成長をお互いに認め合いながら、進級の喜びへとつなげていきたいと思えます。



★できるようになったことがふえたよ！★

☆身の回りのこと・・・「やって」「できない」と言っていた子どもたちですが、持ち物の始末や使った物を片付けられるようになり、「一人でできたよ」と知らせてくれるようになりました。自分からトイレに行ったり、手洗いやうがい、歯みがきの習慣も身につけてきました。今後も丁寧にできるように見守ったり、援助をしていきたいと思えます。

☆給食・・・苦手な食べ物があった子も食べられるものが増えました。

☆遊び・・・一人で遊ぶことが多かった子どもたちですが「一緒に遊ぼう」と友だちを誘って遊んでいます。また、自分の思いを通したくてトラブルになる事もありますが、「貸してあげるね」「代わったるね」と言って譲り合う姿も見られるようになりました。

☆困ったことや出来ないことがあると・・・友だちに助けってもらったり、言葉で伝えに来てくれるようになりました。

★一年前に比べて、みんな心身ともに大きく成長し頼もしくなりました！

玉ねぎの皮・むきむき！

2月から、給食に玉ねぎが入っているメニューの日は、玉ねぎの皮を剥くお手伝いをしています。きりん組の友だちが丁寧に教えてくれて、目をしょぼしょぼさせながら剥いてくれています。玉ねぎが苦手な子も「どれが玉ねぎ？」「透明のが玉ねぎ」「あっこれや」「玉ねぎおいしー」など会話をしながら給食を食べています。

うさぎ組で過ごした一年はあっという間でした。一緒に沢山の驚きや発見、感動を積み重ねてきました。もうすぐ「きりん組になるんだ」と喜びと期待でいっぱいです。その気持ちを大切に生活や活動に自信をもって取り組んでいます。至らない事が多々あったと思いますが保護者の方の温かいご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。